

＜住民登録＞

10月31日現在

人口 78,616

{男 37,789
女 40,827}

世帯数 18,877

大 報

おおだて

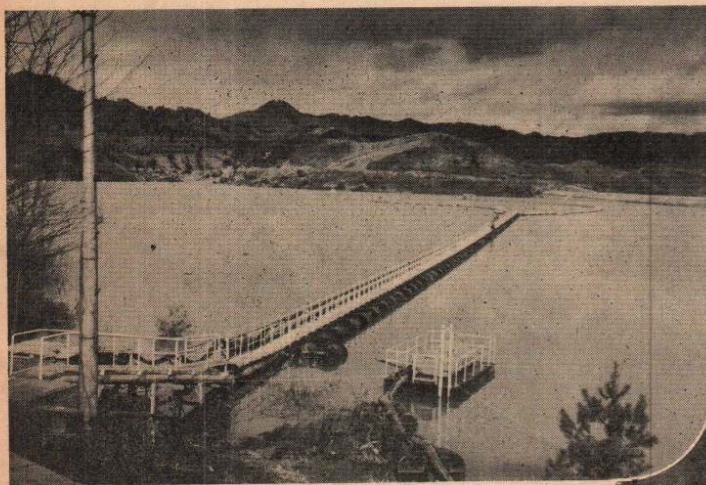
No. 137

編集と発行一大館市役所
発行年月日一昭和43年12月1日
発行日一毎月1日
定価1部4円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

国内初の鉍さい流送パイプ
工事終わる

花岡 能代浜 (71km) をパイプで結ぶ



大館から能代へ行く途中、米代川を横断している美しい朱色の橋をたくさん見かけます。これが鉍さい流送のパイプです。

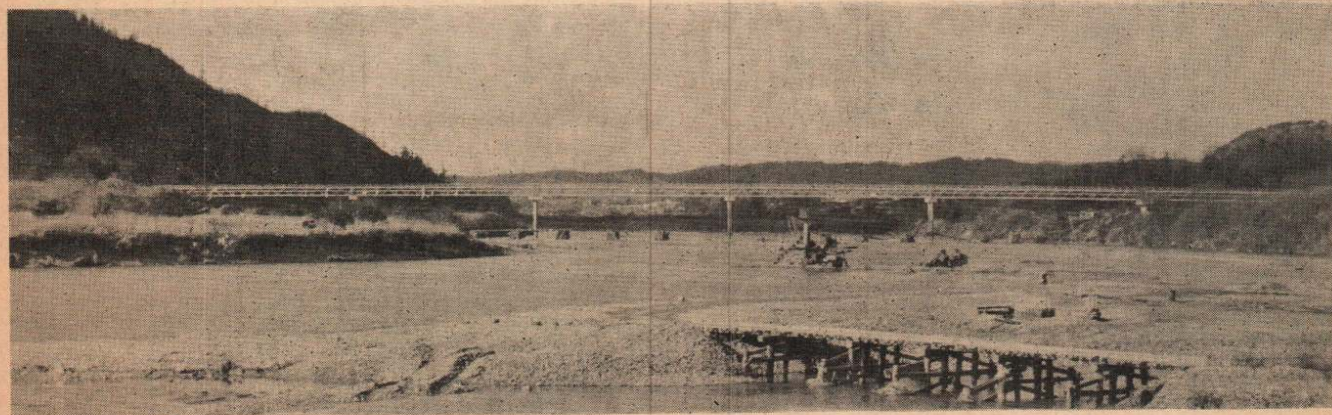
同和花岡 松峰 日鉍製錬内の各鉍山から排出された鉍さいと、坑内水を中和した沈澱物は、このパイプ（直径 30 cm.）を通して浅内浜まで送られます。パイプは地下に埋められていますが、途中米代川を横断する所には13カ所の橋がかかっており、この橋はまた人も渡れるようにしてあるため、地域開発を考慮した特色のある橋ともいえます。

鉍さいは 第2滝の沢ダムからくみあげ、ここで濃度調節など前処理したうえで、3台のポンプ（1台は予備）で流送されますが、

1台のポンプの圧力は一平方m当り5.0kgという強力なもので、消防自動車のホースからでる圧力の1.2倍にあたる強力なものです。

また、途中には一定の区間を区切って空気を入れ、にこっていないかを調べるエアテスト、パイプのつぎ目が完全かを見るレントゲンテスト、ゴミが入っていないかなどを見るビックテストの設備があります。

このように近代的な設備で流送された鉍さいは、浅内浜で万全な無害処理される仕組みになっています。



（写真）米代川を横断するパイプ（市内横岩地内）

……日本最大の黒鉍鉍床を持つ本市一帯の黒鉍開発も順調……
……に進められているが、日鉍、同和の選鉍場から廃出され……
……る鉍さい（選鉍で残るカス）を、同和の第二滝ノ沢ダム……
……から約七十一キロはなれた能代市浅内浜までパイプ流送……
……し、この鉍さいを無害な水にして海に放流するという……
……国内ではじめてのパイプ流送工事が終わりを迎え……
……に流送テストが行なわれています。

この画期的な事業は、県が約二十三億円（公害防止事業団から借入）を投じて昨年から工事を進めていたもので、工事の目的は①米代川の水質を現在以上にきれいにすること、②大量の鉍さいを会社側にだけまかせておくと、最悪の悪いときには十分処理されない恐れがある。③鉍さいダムの決壊による災害（尾去沢鉍山の例がある）を防止するため。④大館周辺には、この大量の鉍さいを安定堆積させる場所がないなどの理由であり、この流送パイプの完成によって、農業をはじめ他産業と鉍業が共に安定した仕事ができるわけで、公害問題がいろいろとりざされていっている今日、この事業の完成は全国的に大きな話題となっています。

（写真）第2滝の沢ダム（上）と鉍さいをかくはんするシクナー（下）

